

マルチポイント コントロール ユニットの cascading 設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[セットアップ MCU 1](#)

[セットアップ MCU 2](#)

[会議を設定して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は単一 MCU で利用可能な マルチポイント制御装置 (MCU) ポートの数が不十分とき膨大な会議のための設定を説明したものです。このような場合より大きい会議を作成するために別のものに 1 MCU を接続することは可能性のあるです。この手法は cascading と呼ばれ、1 つの MCU 会議から別の MCU 会議にダイヤルすることを含みます。各 MCU はローカル MCU 会議の追加参加要素として見られます。この手法は参加要素に 1 人の参加要素の大きい比率しか会わない場合があるまたは別の MCU 制限しますので利用可能なエクスペリエンスを。Cascading は単一 マスター MCU と 1 つ以上のスレーブ MCU の間に発生します。エンドポイントはマスターかスレーブ MCU に接続することができます。これらの接続は各スレーブ MCU のポートおよびマスター MCU のスレーブ毎に 1 つのポートを使用します。

Cascading された会議の間にスレーブのアクティブなスピーカーからビデオはマスター MCU に MCU 送られます。マスター MCU で、すべてのスレーブ MCU からのビデオおよび直接接続されたエンドポイントは会議レイアウトに従って混合されます。エンドポイントにこれを転送するこのビューは各スレーブ MCU にそれから送られます。これらのエンドポイントのそれぞれは機能に基づいてストリームの別々に符号化されたコピーを受け取ります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

セットアップ MCU 1

1. 最初 MCU で（この技術情報の MCU1 と呼ばれる）、**エンドポイント**を選択して下さい。
2. **H.323** を『Add』をクリックして下さい。
3. Name フィールドでは、**MCU2** を入力して下さい。
4. 呼出パラメータおよび視聴者参加番組一致パラメータ フィールドでは、MCU2 の IP アドレスを入力して下さい。
5. デフォルト ファミリー意見で、**フルスクリーン 1 人の参加要素**を選択して下さい。注: これは MCU1 に直接接続する参加要素が見るビューです。この設定はカスケードがアクティブなとき MCU2 は MCU1 に 1 人の参加要素だけ一度に差し向けるようにするので重要です。
6. 表示名上書きする フィールドでは、単一スペースを入力して下さい。これは MCU がカスケードリンクに沿う参加要素名前を MCU2 の参加要素の名前が表示されることを可能にする上書きすることを防ぎます。
7. **エンドポイント**を『Add』をクリックして下さい。
8. **> Add 新しい会議**を『conference』を選択して下さい。
9. Name フィールドでは、会議の名前を入力して下さい。
10. 数字 ID フィールドでは、会議のための数値的な ID を入力して下さい（この技術情報で、333）。
11. **パーマネント**を選択して下さい。
12. **会議**を『Add』をクリックして下さい。会議リストに戻ります。
13. 新しい会議を選択し、**参加要素**をクリックして下さい。
14. MCU1 に直接接続される参加要素を追加して下さい（これに関する詳細については、オンラインヘルプを参照して下さい）。

MCU 2 を設定して下さい

MCU が直接通信し、次に会議に MCU1 を持って来ることができるようステップ下記のセットアップゲートウェイ。ゲートウェイはこの会議が発生する度にだけ一度設定される必要があります、使用されます。

1. 第 2 MCU で（この技術情報の MCU2 と呼ばれる）、『Gateways』を選択して下さい。
2. **H.323 ゲートウェイ**を『Add New』をクリックして下さい。
3. Name フィールドでは、**MCU1** を入力して下さい。
4. Address フィールドでは、MCU1 の IP アドレスを入力して下さい。

5. 必要であれば、2 MCU の間で呼出すのに使用する帯域幅を制限して下さい。
6. 表示名上書きするフィールドでは、単一スペースを入力して下さい。これは MCU がカスケードリンクに沿う参加要素名前を MCU1 の参加要素の名前が表示されることを可能にする上書きすることを防ぎます。
7. **H.323 ゲートウェイ**を『Add』をクリックして下さい。
8. **エンドポイント**を選択し、**H.323**を『Add』をクリックして下さい。
9. Name フィールドでは、**MCU1 会議にカスケードを 333**入力して下さい。
10. 呼出 Address フィールドでは、**333**を入力して下さい。
11. 323 Gateway フィールドでは、**MCU1**を入力して下さい。
12. デフォルト ファミリー View フィールドで、**フルスクリーン 1 人の関係者**を選択して下さい。
13. 自動切断フィールドで、『Enabled』を選択して下さい。これはカスケードが会議の終わりに自動切断されることを意味します。
14. **エンドポイント**を『Add』をクリックして下さい。

会議を設定して下さい

MCU1 の会議を設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. **会議**を選択し、**会議**を『Add New』をクリックして下さい。
2. Name フィールドでは、**会議の名前**を入力して下さい。
3. 約定義される数字 ID フィールドでは、**数字 ID**を入力して下さい (この例でこれは 333) あります。
4. **数字 ID 登録**チェックボックスが選択されないことを確認して下さい。
5. **パーマネント**を選択して下さい。
6. 勧誘では前もって構成された参加要素フィールドは、**少なくとも 1 人の他の参加要素**がいると選択します。
7. **前もって構成された参加要素**をクリックして下さい。
8. **323**を選択して下さい: **MCU1 会議に 333 カスケード**して下さい。
9. 会議に加入したいと思う他のどの前もって構成された参加要素も選択して下さい。
10. **会議設定への戻り**をクリックして下さい。
11. **会議**を『Add』をクリックして下さい。会議リストに戻ります。
12. 新しい会議を選択し、**参加要素**をクリックして下さい。
13. この MCU に直接接続される参加要素を追加して下さい。

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

MCU1 の会議は開始するとすぐ、MCU2 会議 333 を含む前もって構成されたエンドポイントを呼出します。これは意味します MCU を一緒にカスケードする MCU2 の会議 333 に直接呼出すことを。両方の MCU の会議 333 に接続されるエンドポイントは同じ会議に加わります。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。